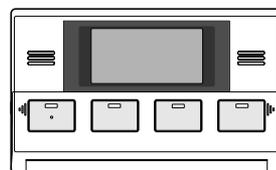
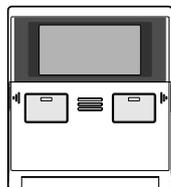


リモコン 工事説明書

電気給湯器用



裏面もあります

特に注意していただきたいこと

●ここに示した「△注意」には次の意味があります。



注意 作業を誤った場合に設置工事業者、または設置後の不具合によって、使用者が傷害を負う可能性が考えられる場合、および物的損害の発生が考えられる場合を示しています。

●絵表示には次のような意味があります。



一般的な禁止



工事をされるかたへのお願い

- リモコンを正しく、安全にご使用いただくためにこの「工事説明書」をよくお読みの上、指定された工事を行ってください。
- 機器とリモコンの接続は小勢力回路の工事に該当し、電気工事士の資格がなくても工事はできますが、電気設備に関する技術基準に従って工事を行ってください。
- リモコンコードは200V電源ブレーカを「切」にした状態で接続してください。
- 取付工事終了後、本書は必ずお客様にお渡しください。

開 梱

1 開梱の際の注意

- リモコンがご使用になる機器、用途に適合していることを確認してください。

2 付属部品の確認

- 次の部品が梱包されていますので、不足のないことを確認してください。

メインリモコン	リモコン固定板	タッピンねじ(L10)	コードクリップ(大)	木ねじ(L35、2個)	ふるリモコン
リモコンパイプ	リモコンナット	防水カバー	防水カバーバックン	タッピンねじ(L8)	コードクリップ(小)
木ねじ(L40、2個)	木ねじ(L30、2個)	カールプラグ(6個)	圧着接続子(2個)	工事説明書(本紙)	

3 別売部品

- リモコンコード

リモコンの取付け

1 メインリモコン取付け上の注意

- メインリモコンは防水タイプではありませんので、浴室など湿気が多い場所には取付けないでください。
- ガステーブル・こんろなどの燃焼器具の上部には絶対に取付けないでください。電気部品の故障・外装の変形を起こします。
- ふたを全開に開き、障害物にあたらない位置に取付けてください。
- 炊飯器・電気ポットなどの蒸気・水滴、じゃ口からの水しぶきがかかる場所には取付けないでください。
- 直射日光のあたる場所には取付けないでください。
- 幼児の手が届くところには取付けないでください。
- 通信および表示不良の原因になりますので、リモコンコードの長さが20m以内になる場所に設置してください。20m以上の場合は動作保証できません。
- お湯の使用頻度が高い場所の近くに取付けていただくと便利です。
- 業務用薬品(アンモニア・イオウ・塩素・エチレン化合物・酸類など)を使用する場所に取付けないでください。
- ねじを強く締めすぎるとねじ穴の破損やリモコン固定板が変形するおそれがありますので注意してください。
- リモコンコードは熱の影響を直接受けないところに配線してください。
- リモコンコードをコンクリート、壁などに埋め込む場合は必ず電線管などを使用してコードを傷つけないようにしてください。

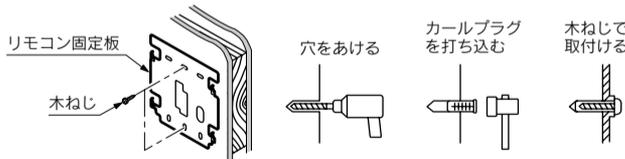
悪い例



2 メインリモコンの取付け

露出配線の場合

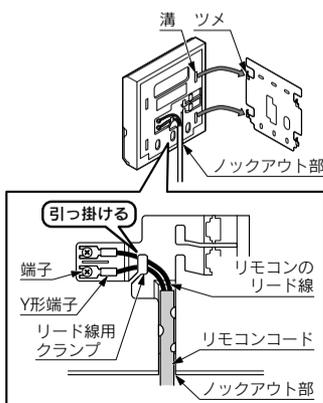
- (1) リモコン固定板を下にスライドさせ、メインリモコンからはずします。
- (2) リモコン固定板を壁に固定します。
壁の丈夫な場所(柱等)にリモコン固定板を付属の木ねじ(L35, 2個)で直接固定してください。
タイル、コンクリート、モルタルなどの壁にリモコン固定板をねじ止めする場合は、付属のカールプラグを使用してください。



- (3) メインリモコンにリモコンコードを接続します。
リモコンコードは無極性ですので、+は
ありません。
端子への接続時に、無理な力を加えて基板に傷をつけないように注意してください。

電動ドライバーを使用すると端子のねじ穴が破損して接触不良を起こすおそれがありますので、絶対に使用しないでください。

メインリモコン下部のノックアウト部を切り取り、図のようにY形端子を端子にしっかりと接続し、リード線用クランプにリモコンコードのリード線を引っ掛けて、リモコンコードをくぼみに納めます。

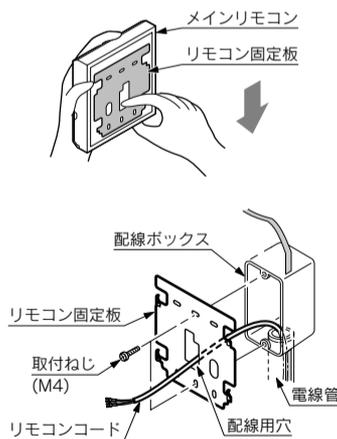


- (4) メインリモコンを取付けます。
リモコン固定板のツメ4カ所をメインリモコンの背面の溝に合わせて、上からスライドさせて固定します。

埋め込み配線の場合

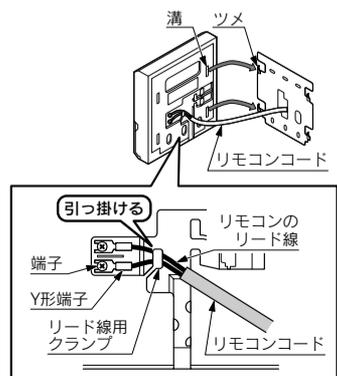
- 事前に壁内部に電線管を通して、配線ボックスを設置してください。

- (1) リモコン固定板を下にスライドさせ、メインリモコンからはずします。
- (2) リモコン固定板を壁に固定します。
①リモコンコードを電線管を通して、リモコン固定板の配線用穴から引き出してください。
②リモコン固定板を配線ボックスの取付ねじ穴に合わせ、取付ねじ(M4)で固定してください。ねじを強く締め付けすぎるとリモコン固定板が変形してリモコンが取付けられなくなることがあります。
- (3) メインリモコンにリモコンコードを接続します。
リモコンコードは無極性ですので、+は
ありません。
端子への接続時に、無理な力を加えて基板に傷をつけないように注意してください。



電動ドライバーを使用すると端子のねじ穴が破損して接触不良を起こすおそれがありますので、絶対に使用しないでください。

リモコン固定板から引き出したリモコンコードのY形端子を端子にしっかりと接続し、リード線用クランプにリモコンコードのリード線を引っ掛けます。余ったリモコンコードは壁穴に入れます。



- (4) メインリモコンを取付けます。
リモコン固定板のツメ4カ所をメインリモコンの背面の溝に合わせて、上からスライドさせて固定します。

リモコンの取付け

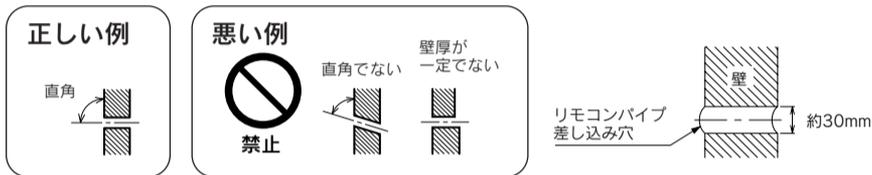
3 ふろリモコン取付け上の注意

- 取付け位置は浴室内のスイッチ操作が容易にでき、表示がよく見えるところを選んでください。
- ふたを全開に開き、障害物にあたらない位置に取付けてください。
- 壁に穴をあけますので、内部の柱、鉄筋の位置を確認してください。
- ふろリモコンは防水加工されていますので分解しないでください。
- ふろリモコンは防水タイプですが、水やお湯が直接かからない場所に取付けてください。(マイクやスピーカー部に水がかかると、一時的に音声不良等になることがあります。)
- ねじを強く締めすぎるとねじ穴が破損するおそれがありますので注意してください。
- タイル、コンクリート、モルタルなどの壁にリモコンや防水カバーをねじ止めする場合は、カールプラグを使用してください。
- 通信および表示不良の原因になりますので、リモコンコードの長さが20m以内になる場所に設置してください。20m以上の場合は動作保証できません。

4 ふろリモコンの取付け

リモコンパイプを使用する場合

- ふろリモコンの取付け可能な壁の厚さは約40~210mmです。
- (1) 壁に直径約30mmの穴をあけます。壁に対して直角にあけてください。

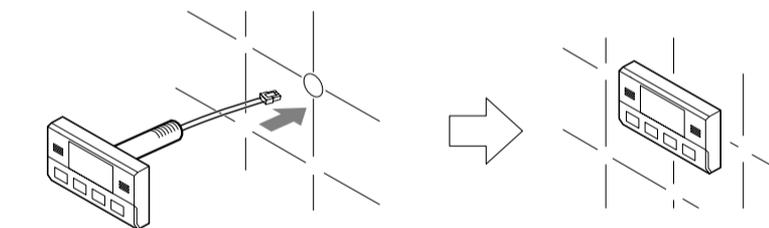
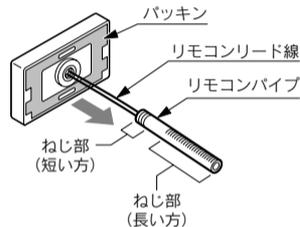


- (2) リモコンパイプを壁の厚さに35mm加えた長さに切ります。(ねじ部の長い方を切ってください。)

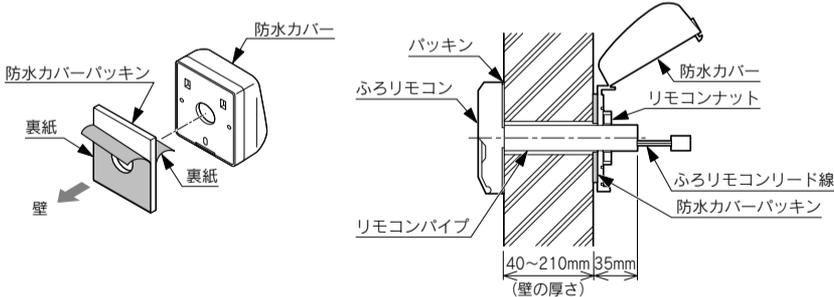
- (3) リモコンパイプにふろリモコンリード線を通します。

- (4) リモコンパイプをふろリモコンにしっかりとねじ込み、ふろリモコンのパッキンの裏紙をはがします。

- (5) 壁にふろリモコンリード線とリモコンパイプを通してふろリモコンを壁に取り付けます。

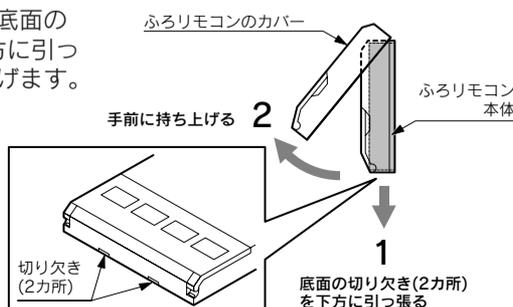


- (6) 防水カバーに裏紙をはがした防水カバーパッキンを貼り付け、反対側の裏紙をはがします。
- (7) 防水カバーにふろリモコンリード線、リモコンパイプを通します。
- (8) 防水カバーの上下を確認して、壁に防水カバーを取り付けます。
- (9) リモコンパイプにリモコンナットをしっかりと締め込みます。

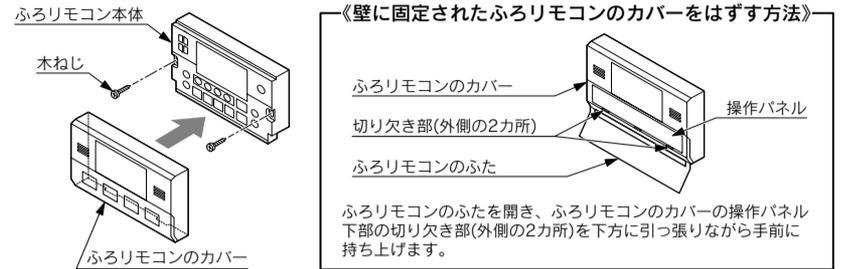


リモコンパイプを使用しない場合

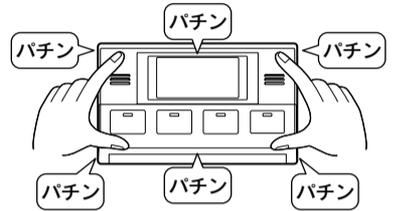
- (1) 壁にふろリモコンリード線の通る穴(直径12mm以上)をあけます。
- (2) ふろリモコンのカバーを底面の切り欠き部(2カ所)を下方に引っ張りながら手前に持ち上げます。



- (3) ふろリモコンのパッキンの裏紙をはがし、壁穴にふろリモコンリード線を通して、ふろリモコンを壁に取付けます。
- (4) ふろリモコンを付属の木ねじ(L40,2個)で壁に固定します。ねじを強く締めすぎるとねじ穴が破損するおそれがあります。タイル、コンクリート、モルタルなどの壁にふろリモコンをねじ止めする場合は、付属のカールプラグを使用してください。



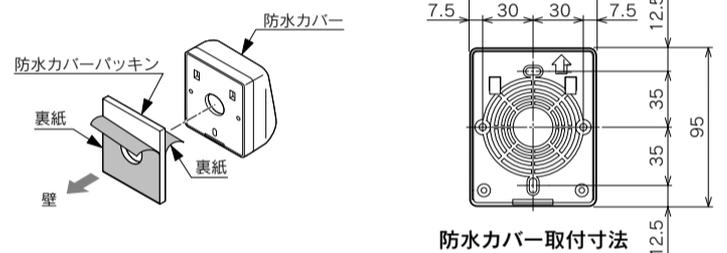
- (5) ふろリモコンのカバーを元通りに取付けます。周囲を指で押さえて、パチンと音がするまでしっかり押し込んでください。



- (6) 防水カバーに裏紙をはがした防水カバーパッキンを貼り付け、反対側の裏紙をはがします。

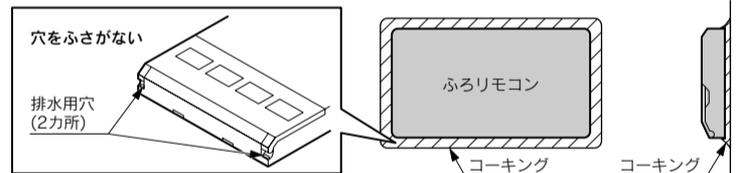
- (7) 防水カバーにふろリモコンリード線を通して、防水カバーの上下を確認して、壁に防水カバーを取付けます。

- (8) 付属の木ねじ(L30,2個)で防水カバーを壁に固定します。コンクリート、モルタルなどの壁に防水カバーをねじ止めする場合は、付属のカールプラグを使用してください。



5 ふろリモコン周囲のコーキング

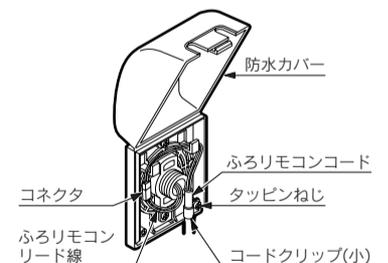
- ふろリモコンの周囲をシリコン等でコーキングしてください。コーキングをしないとリモコン内部に水が入り、故障の原因になります。(リモコン底面の排水用穴2カ所をふさがないように注意してください。)



6 ふろリモコンコードの接続

別売のふろリモコンコードを使用する場合

- (1) ふろリモコンリード線のコネクタと、ふろリモコンコードのコネクタを接続します。
- (2) 防水カバーの中に余ったふろリモコンリード線とコネクタをおさめ、ふろリモコンコードを付属のコードクリップ(小)とタッピンねじ(L8)で防水カバーに固定します。
- (3) 防水カバーのふたを閉じます。



市販のコードを使用する場合

- (市販のコードはVCTF0.5mm² 2心を使用してください。)
- (1) ふろリモコンリード線のコネクタを切り取り、ふろリモコンリード線と市販のコードの被覆を約5mm切り取ります。
- (2) ふろリモコンリード線の先端を付属の圧着接続子に差し込んでカシメ工具でかします。
- (3) 市販のコードを圧着接続子に差し込んでカシメ工具でかします。
- (4) 防水カバーの中にふろリモコンリード線と圧着接続子をおさめ、市販のコードを付属のコードクリップ(小)とタッピンねじで防水カバーに固定します。
- (5) 防水カバーのふたを閉じます。

7 機器との接続

- 機器との接続は、機器付属の「工事説明書」を参照してください。